

日本顕微鏡学会 超分解能電子顕微鏡分科会

第7回研究会「回折面上から捉える高分解能像」

日時 2011年11月29日(火) 13:10 - 18:00

場所 愛知県産業労働センター (名古屋駅より徒歩5分)

(定員 80名:会場スペースの都合上、定員にて受付を締め切らせて頂きます)

会費 1,000円

趣旨

最近、回折像を利用したイメージングの取り組みが精力的に行われている。その背景として、収差補正技術の進展による高分解能化が挙げられる。本研究会では、回折面からどのように構造や組成などの情報が得られるのかについて、原理から実際の応用例まで先進研究者からお話を伺うとともに、活発に議論を行う。

13:15-13:20 「はじめに」

大阪大学 大島義文

座長 大島 義文 (大阪大)

13:20-14:00 「電子回折顕微法による原子分解能再構成」

名古屋大学 山崎 順 (40分)

14:00-14:40 「低加速電子ビームによる原子分解能回折イメージング」

日立製作所 中央研究所 上村 理 (40分)

14:40-15:20 「共焦点電子顕微鏡の深さ分解のメカニズム」

物質・材料研究機構 三石 和貴 (40分)

15:20-15:50 休憩

座長 阿部 英司(東京大)

15:50-16:30 「Spatially-resolved diffractometry による原子コラムの観察」

物質・材料研究機構 木本 浩司 (40分)

16:30-17:10 「菊池図形をもちいた原子サイト解析」

名古屋大学 齋藤 晃 (40分)

17:10-17:50 「TripleC プロジェクト低加速 CcCs コレクターにおける TEM 分解能」

日本電子 沢田 英敬 (40分)

参加申し込み : 下記世話人までメールでお願いします

第7回研究会世話人 :

大島義文 (大阪大学超高压電顕センター)

TEL: 06-6879-7941

E-mail: oshima [a]uhvem.osaka-u.ac.jp

